



なつごう  
夏号

おし じょう  
忍 城

# ミュージアム通信 No.26

第23回 テーマ展

## 忍の水物語

— 治水と利水 —

7月6日(土)～9月1日(日)



おし ごりょう ぶん え す  
忍御領分絵図

江戸時代終わりごろの地図です。まん中が忍城、利根川と荒川にはさまれて、河川がたくさん流れている様子がわかります。

みてみよう! この資料!

### 増補忍名所図会



江戸時代の終わり頃、忍城のお殿さまの命令でまとめられた地誌(地域の自然や名物、有名なお寺などをまとめた本)です。きれいな色で利根川や荒川の風景が描かれています。

帆をはった舟が行きかう利根川や、鮎をとっている荒川の様子などをみることができます。

### 夏休みサマーシアター

7月21日(日)「忍城の鮎」(ドキュメンタリー 約20分)

「忍城御三階櫓」の鮎はどうやってつくられたの?

8月11日(日)「最後の空襲—熊谷—」(アニメ 約30分)

終戦の前日、熊谷市に大空襲がありました・・・

- 【場所】 行田市郷土博物館 講座室
- 【時間】 午後1時～
- 【予約】 必要ありません。

開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日 毎週月曜日 ほか7/16、9/3～6、17、24、27

(7/15(月)、9/16(月)、23(月)は開館します。)

お問い合わせ TEL. 048-554-5911 ●次号は9月末頃に発行予定です●

<http://www.city.gyoda.lg.jp/kyoiku/iinkai/sisetu/hakubutukan.html>

平成25年7月10日発行  
編集・発行 行田市郷土博物館  
〒361-0052 行田市本丸17-23

無料券

(小・中学生のみ)

有効期限

平成25年9月27日まで

# 体験学習のおしらせ

7月27日(土)



たいけんがくしゅうこうざ  
**体験学習講座**

## 「古代ハスをつくろう」

おがみぎょうだこだいハス  
折り紙で行田の古代蓮をつくりま  
す。上手につくれるかな？

・時間 午後1:30~3:30

・定員 30名(先着順)

・予約 可能(受付カウンター/電話 048-554-5911)

※予約いっぱいになることが多  
いのでご注意ください。

・費用 無料

・場所 郷土博物館 講座室

※参加は入館者のみになります。

8月24日(土)



たいけんがくしゅうこうざ  
**体験学習講座**

## 「水でっぼうをつくろう」

たけ  
竹でみずでっぼうをつくりま  
す。できあがったら、博物  
館の外に出てみんなで遊ん  
でみましょう。

※タオル・着替えをご用意ください。

【注意】

・5分前には必ずお越しください。

・小学生以下のお子様には大人の方が付き添って  
ご参加ください。(大人も参加できます)

・会議室の開場は午後1:10からの予定です。

・汚れても平気な格好でお越しください。

## 博物館の展示資料No.6 「貝合わせ」 ー第1展示室

- ・貝がらを使った平安時代の貴族の姫君たちの遊びです。
- ・貝がらの色合いや形の美しさ、珍しさを競ったり、神経衰弱と似た遊び方などで楽しめました。
- ・戦国~江戸時代には、武士たちの間でも親しまれ、嫁入り道具として飾られるようになりました。
- ・今でも貝をしまう「貝桶」がおひな様の道具に入ることがあります。



ち  
まめ  
しき  
知識

Q

「治水」と「利水」ってなあに？

A

「治水」は、水を治め、「利水」は、水を利用することをいいます。行田は北に利根川、南に荒川が流れていて、水が豊かな地域です。水が豊かということは、ひとたび大雨が降ると、川の水があふれ、暮らしている家や農業を行なう田畑が流されてしまう危険もありました。そこで人びとは生きるため、川の水をせき止める堤防などをつくり、水を治めようとなりました。また、川に荷物を積んだ船を浮かべ、人や馬よりも早く、安く、川沿いの地域に荷物を運んだりしました。

このように、行田に暮らす人びとは、むかしから水とともに生活を営んできたといえるでしょう。

ラウンジコーナー

おりがみを  
つくってみよう!

8月おわりまで  
●古代ハス

